

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 事業名  
**543 スカイトウンつつじが丘形成事業（菜園整備）**

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	3	住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組	1	良質な住宅・良好な宅地の供給

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		土木費
	項		住宅費
	目		住宅管理費
	大事業		住宅管理事業
事項		スカイトウンつつじが丘形成事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H20	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	住宅政策課		(435-1099)
関連課			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
--------	----------	-----------	------

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
本市の分譲地であるスカイトウンつつじが丘の土地を所有する者及び市民が自然に親しみ、相互に交流を広げる場を提供することにより、スカイトウンつつじが丘の付加価値を高め販売を促進することを目的とする。	スカイトウンつつじが丘菜園をスカイトウンつつじが丘の土地を所有する者及び本市に住所を有する者に限り貸し付ける。 全39区画 貸付料 1区画あたり年額8,640円 貸付条件 一般13区画 和歌山市民 既購入者13区画 新たに購入したもの 募集方法 一般区画（市報で募集）、既購入者区画（自治会回覧で募集）、新規購入者区画（随時募集） 申込者数が募集区画数を上回った場合は、公開抽選 最長利用期間3年 維持管理 防草、侵入路の維持管理等				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	39区画の市民菜園のうち13区画をスカイトウンつつじが丘の住民に、13区画を一般市民に貸し出し、残り13区画を今後スカイトウンつつじが丘の土地を購入した住民に貸し出す。 （貸出実績） 一般 13区画 既購入者 13区画 新規購入者 0区画	39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 13区画 既購入者 13区画 新規購入者 1区画	39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 13区画 既購入者 13区画 新規購入者 1区画	39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 13区画 既購入者 13区画 新規購入者 1区画	39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,214	704	866	275	1,349	593	1,160	145	1,044	
伸び率 (%)	-	-	-28.7%		55.8%		-14.0%		-10.0%	
人件費	常勤職員	9,101	7,485	7,485	5,868	5,868	6,172	5,911	5,418	5,911
	非常勤職員				4,083	4,083	4,890	603	4,890	4,890
	小計	9,101	7,485	7,485	9,951	9,951	11,062	6,021	10,801	10,801
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	336	205	336	229	336	231	336	226	336	336
一般財源（税等）	878	499	530	46	1,013	362	1,013	0	708	
所要人数	常勤職員	1.19	0.98	0.98	0.78	0.78	0.78	0.73	0.78	0.78
	非常勤職員				1.12	1.12	1.44	0.29	1.44	1.44
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	菜園貸し出し件数				年度目標値	39	39	39	39
					実績値	26	27	27	27
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	66.6%	69.2%	69.2%	69.2%
成果指標	分譲地販売区画数				年度目標値	10	10	10	10
					実績値	16	23	19	16
	単位	件	全体目標値	39	全体目標達成度	年度別達成度	160.0%	230.0%	190.0%
					年度目標値				
					実績値				
					年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>現在、39区画あるつつじが丘菜園は、既購入者枠13区画、一般市民枠13区画及び分譲地の新規購入者枠1区画の計27区画が利用されている。つつじが丘住民及び地域住民が、自然とふれあい耕作する喜びを提供すること、また、新規分譲地購入の特典としての優先枠を設け販売を促進するという事業目的はおおむね達成されている。事業費については、菜園周辺の草刈等の管理費は毎年必要であり抑制できない。受益者負担については、借地料及び使用水道料金は周辺の貸し農地の状況や水道使用量から適正と考える。新規購入者区画の利用者が少なく、他の区画の需用が多いため、区画の割り振りを検討する必要がある。</p>
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載</p>	<p>現状維持が妥当である。</p>